

第60回全国母子生活支援施設研究大会 開催要綱

大会テーマ

ひとり親家庭の砦としての実践 ～すべての子どもを社会全体で育む社会の実現に向けて～

1. 趣 旨

平成 27 年 8 月にひとり親家庭・多子世帯等の自立を応援するとともに、児童虐待防止対策の強化を図ることとした「すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト」が閣議決定されました。ひとり親家庭等の支援については、一般政策とひとり親家庭向けの施策を適切に組み合わせて、子育て、生活支援、経済的支援も含めた総合的な支援を行うこと、情緒の安定や大人への信頼の回復、学力の向上など未来に向けての力を蓄える場としての機能、個々の家庭が抱える課題に寄り添った支援を行うことが重要とされています。これらの実現のため、ひとり親家庭支援の拠点として、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援に、母子生活支援施設の活用が記載されています。

今後、母子生活支援施設は「私たちのめざす母子生活支援施設（ビジョン）」の実践に向け、ひとり親家庭へのアウトリーチ拡充について議論をより深めてまいります。母子生活支援施設には、地域社会とともにひとり親家庭に支援をつなげ、ひとり親家庭が孤立せず、子どもの育ちが守られ、貧困の連鎖が断ち切れるよう家庭福祉の拠点として施設の専門性を活かした総合的包括的支援の展開、社会環境の変化に応じた支援の提供が期待されています。

このような中、全国母子生活支援施設協議会（全母協）は、本年で 60 周年となり、また鯉淵記念母子福祉助成事業では、10 周年記念となります。本大会では、上記の状況をふまえ、ビジョンの実践や、倫理綱領の見直しについて協議するとともに、より一層ひとり親家庭に対する援助の強化をはかることを目的に開催いたします。

2. 主 催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国母子生活支援施設協議会
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会（調整中）

3. 後 援（予定）

厚生労働省、東京都、墨田区
全国母子寡婦福祉団体協議会、全国母子・父子自立支援員連絡協議会

4. 期 日

平成 28 年 10 月 19 日（水）～20 日（木）

5. 会 場

「K F Cホール」 周辺地図等は、参加券等に同封してお送りします。
〒130-0015 東京都墨田区横網 1-6-1 国際ファッションセンタービル 3 階
TEL：03-5610-5801 FAX：03-5610-5891
〔最寄駅〕 都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1 入口に直結
J R 中央・総武線「両国駅」東口より徒歩 6 分

6. 参加対象（定員 250 名）

- (1) 母子生活支援施設の役職員（法人の役員および施設長、職員）
- (2) 都道府県・指定都市・中核市・市区町村行政の母子・児童福祉関係者
- (3) 社会福祉協議会の母子・児童福祉関係者
- (4) 児童養護施設等の社会的養護を担う児童福祉施設の役職員、里親及び関係者
- (5) 母子・父子・寡婦福祉団体関係者、民生委員・児童委員、母子・父子自立支援員 等

7. 参加費 17,000 円

8. 交流会費 8,000 円（宿泊・昼食代等は別途申込書をご参照ください。）

9. 日程、プログラム

【1日目：10月19日（水）】

12：00～13：00	受付
13：00～13：30	開会式（永年勤続表彰等）
13：30～14：15	行政説明 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課
14：15～15：15	基調報告 全国母子生活支援施設協議会 会長 菅田 賢治
15：15～15：30	休憩
15：30～17：30	鯉淵記念母子福祉助成事業 10 周年記念シンポジウム 〔コーディネーター〕 首都大学東京 都市教養学部 教授・鯉淵記念母子福祉助成事業運営委員 岡部 卓 氏 〔シンポジスト〕 元文京学院大学教授・鯉淵記念母子福祉助成事業 運営委員長 林 千代 氏 全母協副会長・ // 運営委員 芹 澤 出
17：30～18：00	休憩
18：00～20：00	交流会 第一ホテル両国「清澄」（5 階）

【2日目：10月20日（木）】

9：00～9：30	倫理綱領見直し（案）検討状況の報告 総務委員長 廣瀬 みどり
9：30～12：00	ビジョン実践に向けた新たな取り組み事例発表 〔コーディネーター〕 淑徳大学 総合福祉学部社会福祉学科 教授 稲垣 美加子 氏 〔発表者〕 ・東京都 大田区立ひまわり苑 副施設長 斎藤 弘美 氏 ・鳥取県 倉明園 施設長補佐 田中 恵子 氏
12：00～13：00	昼食休憩
13：00～13：35	第 41 回（平成 27 年度）資生堂児童福祉海外研修報告会 千葉県 国府台母子ホーム 少年指導員 藤野 智 氏 鳥取県 倉明園 少年指導員 寺脇 優子 氏
13：35～13：45	休憩
13：45～15：15	60 周年記念講演 「ひとり親家庭の砦としての実践をめざして —母子寮から母子生活支援施設へ ビジョンに込めた思い—」 神奈川県立保健福祉大学 顧問・名誉教授 山崎 美貴子 氏
15：15～15：20	大会アピール
15：20～15：30	閉会式

【タイムテーブル】

	12:00	13:00	13:30	14:15	15:15	15:30	17:30	18:00	20:00
19日 (水)		受付	開会式	行政説明	基調報告	休憩	鯉淵助成 10 周年記念 シンポジウム	休憩	交流会
20日 (木)	9:00	①倫理綱領見直し案等報告 ②新たな取り組み事例発表	昼食 休憩	海 報 外 告 研 修	60周年記念講演	大会 総 括 閉 会 式			
	9:00	12:00	13:00	13:45	15:15	15:30			

10. 参加申し込み及び宿泊・交流会申し込みについて

(1) 別添の「参加・交流会・昼食・宿泊申込書」に必要事項を記入のうえ、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店まで、郵送またはFAXにてお申し込みください。

申込締切日は9月21日(水)必着、先着順といたします。また、定員に達した時点で、申し込みを締め切らせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(2) 参加者には、参加申込受付後開催日の10日～1週間前をめどに、大会参加券・交流会参加券・昼食券、交通案内等をお送りします。大会当日には忘れずにお持ちください。

(3) 費用入金後にキャンセルいただいた場合には、大会参加費の返金はいたしかねます。宿泊・交流会・昼食のキャンセルにつきましては、別途記載の所定の取消料をいただきますことをご了承ください。

11. 個人情報の取扱いについて

(1) 個人情報の利用について

参加申込書に記載された個人情報については、全社協児童福祉部(事務局)と名鉄観光サービス(株)新霞が関支店(担当旅行代理店)、大会会場において、参加申込受付・管理、参加にあたり希望される宿泊等のサービス提供等、本大会の運営に必要な範囲内で共有し使用いたします。

(2) 参加者名簿の作成について

大会参加者の交流を図るため、参加申込書に記載された情報をもとに、参加者名簿(都道府県名・所属施設名・役職名・氏名)を作成し、当日参加者に配布いたします。

12. お問い合わせ先

[大会内容に関するお問い合わせ先]

全国社会福祉協議会 児童福祉部(担当:吉田)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509

※手話通訳、要約筆記など、参加にあたってご要望があれば、ご相談ください。

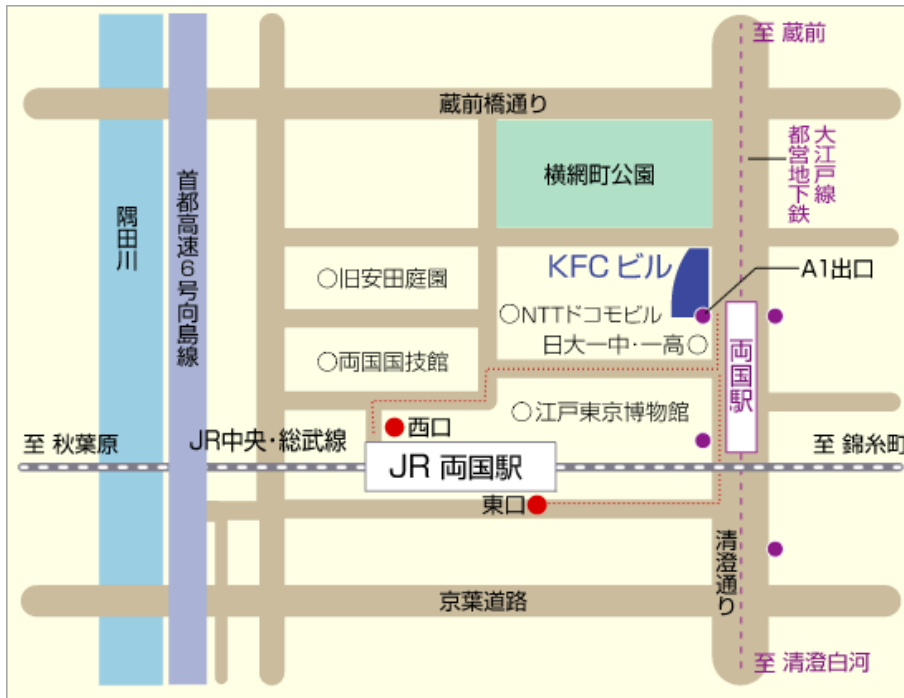
[参加申込み、宿泊・交流会・昼食申込みに関するお問い合わせ先]

名鉄観光サービス(株)新霞が関支店(担当:波多野、山辺)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルLB階

TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119

【会場案内図】



電車でのご利用

地下鉄 都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1 出入口に直結。

JR JR 中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約 6 分。

東口改札より線路沿いを千葉方面へ向かい、突き当たり大通りを左折しガードをくぐり、約 200m 先左手 25 階建てビル。

JR 中央・総武線「両国駅」西口より徒歩約 7 分。

西口改札より両国国技館と江戸東京博物館の間の歩行者用通路に沿って、車止めのある十字路を右折。両国中学校と江戸東京博物館の間のレンガ道を進み大通りを左折し、約 50m 先左手 25 階建てビル。